



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)
V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 072-894-3737)
(Fax 072-891-3340)

新年おめでとございます 連絡会役員一同



今年はいよいよ“ジャンプ”の年です。また、連絡会創立30周年の節目の年でもあります。次の一步を皆さんと一緒に踏み出していきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。

各グループの抱負

障がい者との交流 「ほほえみ」
昨年利用者の方が亡くなられ、悲しみに暮れましたが、ことしは「楽しいほほえみ」を合言葉に頑張ります!!
そして新しい仲間が増えたいですね。

要約筆記「星の会」
中途失調者・難聴者の皆さんと交流を深めながら、要約筆記(話の内容をその場で伝える文字筆記通訳)の普及に取り組んでいます。
ことしも広く市民の皆さんに要約筆記への理解と普及に努めます。

介護衣料「糸ぐるま」
交野いきいきマルシェで糸ぐるまのブースを出展、PRに努めました。また「J・COM・交野さんぽ。」での紹介などで存在を広めたと思ひます。今年利用者の皆さんが増えることを願っています。

障がい者・施設支援「ふれんず」
ことしも各障がい者施設の方、利用者皆さんとの交流を楽しみ、「こんにちは」「いらっしゃい」の暖かい言葉と、ひとときの出会いを大切にしていきます。



手話「さつき」
ことしの「さつき」は、たすけあい、つたえる気持ちを持って大切に、どんな時でも楽しんで、しゅ話の活動に励みます。手話への理解を深め、思いやりのある社会を目指します。

子育て広場「アリス」
ことしも子どもたちと一緒に遊ぶボランティアとして、安心して遊べるように見守り、おもちゃの消毒、整理に努めます。



点訳「虹の会」
子どもたちや障がい者に輝く未来を!! 先ず小さなことから始めよう。そしてボランティア活動(点字・点訳の普及)の広がりを求めて、ことしもがんばります。

ニュースポーツ・演芸 おもちゃ作り「玉手箱」
コロナも5類に移行して各地・各所でのイベントも再開され活動が忙しくなってきました。
口は動くが手の動きが鈍くなってきた昨今ですが、メンバー一同力を合わせて今年も頑張りたいたいと思ひます。

在宅訪問「陽だまり」
一昨年、新たに始まった「にし★カフェ」の活動はグループにとって大きな刺激となりました。
ことしもこの活動を中心にすえながら、本来の在宅訪問活動もさらに増やしたいと思ひています。

朗読グループ「あい」
声の広報の発行、冊子の音訳、朗読会やアイマスク体験など、幅広く活動しています。
ことしも一人ひとりの持ち味を生かして、一緒に活動できる喜びを大切にしながら、みんなで元気に一年を過ごしたいです。



登録ボランティアのみなさまへ ボランティア登録継続意思確認のご案内

ボランティアグループに所属している人はグループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをする場合があります。登録内容に変更がある場合は、センター事務所に申請書を提出してください。

個人で登録した

ボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を行いますので、2月15日(木)までに返送をお願いします。

「なかま」の配布活動をしている人には活動確認を行いませんので、

休会や登録抹消の意向がある場合は、その旨をセンター事務所へ連絡してください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をするときに行います。活動を始める際はセンター事務所までご連絡ください。

また、活動していただくにあたって、センター事務所へ依頼書と活動報告を提出していただく必要があります。

詳細はセンター事務所へお問合わせください。

30周年記念式典 令和6年5月18日(土) 開催に向け準備進む

12月20日に第6回実行委員会を開催しました。実行委員の皆さんを中心に、当日に向けて少しずつ内容が具体化しています。

式典後半の出し物は、大道芸人たつきゆうさんに「笑いと健康」がテーマの講演とパフォーマンスをお願いしています。

皆さんと楽しいひとときを過ごせるよう、これからも準備を進めていきます。



リーダー会議からのお知らせ

【12月19日】

- ☆会長挨拶
- ふれあい広場、ボランティアグループ交流会参加協力のお礼
- ☆連絡会より
- 健康福祉フェスティバル 全体反省会より
- ふれあい広場 会計報告
- ボランティアグループ交流会のアンケート集計報告
- 連絡会助成金 会計研修について
- 2月27日(火) 11時から
- 30周年記念行事 参加者予定表
- 3月26日締め切り
- 指名委員会について
- ☆各グループより 現況報告
- ☆Vセンターから
- 連絡会HP更新 本日締め切り
- ボランティア登録継続確認の件

【10月24日】

- ☆会長挨拶 赤い羽根街頭募金ボランティアのお礼
- ☆連絡会より
- 健康福祉フェスティバル・ふれあい広場について
- ボランティアグループ交流会について
- 30周年記念行事 実行委員会より報告

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

- 令和5年度ボランティア表彰について
- ボランティアサロン1月23日(火) 13時30分〜15時、二次元コード活用について
- 連絡会PR動画について
- 窓の施設について
- 連絡会HP更新 12月19日締め切り

☆次回リーダー会議は2月27日(火)

▼元日早々の能登半島地震には驚いた。その翌日には羽田空港での日本航空と海上保安庁機による衝突事故が発生。自然災害と人災のダブル災害、今年はどうなるのか心配だ。▼地震による被害の甚大さが目を追ってあきらかに、だが被害の全体像がまだ見えないところに深刻さがある。震源に近い市町村では行政機能がマヒし、孤立した集落も少なくない。行方不明者の救出も困難を極めている。被災者の元に救援の手が一刻も早く届くのを願うだけでなく、いま私たちができることは何かを問ひながら具体的な行動を起こそうではないか。



なかま次号発行予定
令和6年4月1日(月)



ボランティアグループ交流会

笑顔あふれるなかまの輪

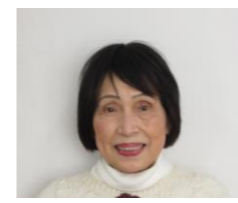
12月6日、ボランティアグループ連絡会交流会が開かれ、ゆうゆうセンター多目的ホールにボランティア53人が集いました。会長、社協各務課長の挨拶の後、各グループのスライドショー、グループリーダーからの一言メッセージと続き、各グループの様子が分かりました。

と等話し合いました。その後全体交流。玉手箱からいただいたキュービックに悪戦苦闘、牛乳パックの竹とんぼを飛ばし合い、しばし童心にかえりました。そして、メインイベントの駒場直美(写真)さんの篠笛演奏。テンポの良い「ドレミの歌」から、心にしっくりくる「雪の華」まで全5曲。心が洗われたようでした。この交流会で他のグループの方と知り合いになり、更にボランティアの輪を広げていければ良いなと感じました。

令和5年度 ボランティア表彰

長きにわたり社会福祉活動にご尽力いただいておりますお二方が受賞されました。おめでとうございます。

ボランティア功労者(個人) 厚生労働大臣 感謝状



福光 和代さん (朗読グループ: あい)

大阪府社会福祉ボランティア 知事表彰(個人)



山根 豊さん (在宅訪問: 陽だまり)

二次元コード・Google フォーム等を研修 再度挑戦の機会があれば

11月28日、社協主催の令和5年度広報研修会が開催され、二次元コード・Google フォームの活用等について学ぶ機会を得ました。最近はいろんな所で二次元コードを目にします。高齢者だから、メカに弱いからではすまされなくなってきました。情報発信の形が随分変わってきた中で、今回のテーマは的を射たものだと思って臨みました。二次元コードを使っただけの情報発信力(量)のアップや、コードの作成法までは何とか理解が進んだようですが、Google フォームの作成・活用となると四苦八苦。実際に活用できるには程遠いと感じました。しかし、いずれ使う機会がくるまでに、何とか「モノ」にしなければと思っています。再度、研修の機会があればありがたいです。

身近な話題で共通認識を深める

11月28日、大阪府ボランティア連絡会・河北ブロック交流会が担当市である寝屋川市市民会館で河北7市のボランティアが集まり開催されました。第一部は、ギターサークルの演奏にあわせてみんなで歌い、その後子ども食堂の活動紹介、米寿を迎えた男性の「雨ニモマケズ」の詩吟朗詠、疑似体験ボランティアグループのユニバーサルデザインの紹介等、貴重な体験ができました。第二部は、グループトークで各市

の現況や問題点などの報告では、何処もボランティアの高齢化は共通する課題ですが、大学生や高校生への協力依頼で活性化しているグループもあり参考になりました。手作りのミニカレンダー(写真)と無化学肥料・無農薬で作られた寝屋川市の特産物「紅はるか」(さつまいも)を頂いて帰路につきました。



第29回健康福祉フェスティバル4年振りに開催

昨年5月のコロナ感染症の5類移行で、11月12日従来のフェスティバルが復活しました。一部、食品関係の出店規制がありました。各ブースのボランティアの頑張りのおかげで戻ってきました。

当日は小雨が降ったり、やんだりの寒いなか、4年のブランクで運営に不安もありましたが、終わってみれば活気に満ちた楽しい一日でした。一番印象に残ったのは、メンバーが積極的に話し、楽しそうに活動している姿でした。その中で生まれる人と人の繋がりが、明日の活力につながるような気がしました。

ボランティア活動をしている皆様、関係がより一層深まることを、来年のフェスティバルにも期待したいと思っています。



「写真」 上: 開会前の打合せと準備 中: 点字体験コーナー(屋内3F) 下: 植木・古本市・バザーのブース

かたのにぎわいフェスタ おもちゃ作りで参加

おもちゃ作りと ニュースポーツ・演芸「玉手箱」

10月29日、にぎわいフェスタの催しの中の「キッズハロウィン」のイベントがいきいきランド・サブアリーナで行われ、おもちゃ作りで参加しました。

お天気も良く開場と同時に大勢の人が入場。ハロウィンの衣裳の親子連れも多く楽しい雰囲気が漂っていました。会場のどのブースも大人気で「玉手箱」にも長蛇の列ができ、必死で頑張りました。出来たおもちゃを廻したり飛ばしたりととても楽しんでもらえたようでした。なかでも幼い女の子がおもちゃが廻った時にとろけるような嬉しそうな笑顔を見せてくれたのが印象的でした。



いきいきマルシェ おりひめの駅に出店

介護衣料手づくり 「糸ぐるま」

10月22日、紅葉しかけたメタセコイアが美しい、秋晴れの中、いきいきランドで開かれたマルシェに2回目の出店をしました。主体の介護衣料品の展示と日ごろ作りためた衣類や手芸品の販売をしました。

ご家族を介護されている方が改良寝間着や車いす用のレインコートなどの説明を興味深く聞いてくださり、ボランティアセンターの存在を認識していただきました。



盛況だった「糸ぐるま」のブース